

# によどの

# 事務局だより第67号

# いずみ

平成29年7月1日 発行

公益社団法人

いの町シルバー人材センター

〒781-2110 吾川郡いの町6032番地3

電話 893-2322 FAX893-2352



平成二十九年度定時総会  
全議案を提案通り可決  
設立二十五周年記念式典  
いの町関係者様に、ご臨席  
を賜り温かいお言葉をいただ  
きました。

## 定時総会出席者 の概要

会員総数 321名

当日出席者 146名

委任状 105名

書面表決書 31名

合計 282名



設立二十五周年を迎えて  
理事長 土居 泉水



公益社団法人いの町シルバー人材センターは、平成四年度に発足して以来、今年度で二十五周年を迎えることができました。

平成十六年十月、町村合併により吾北村シルバー人材センターと統合、平成二十四年四月、国の公益制度改革によりシルバー事業は公益事業であり、地域社会の役割を考え審査・認定を受け社団法人から公益社団法人へ移行しました。

この間、国・県・町はもちろん、関係諸団体、企業、町民の皆様のご支援、ご協力を賜り、安定した運営ができ地域社会に貢献し、着実に進展して参りました。

会員の皆様、役職員の皆様方におかれましても、厳しい社会情勢の中、経費の削減と就業機会の拡大、会員の拡大に努め二十五周年を迎えられましたこと

とに、心から感謝を申し上げ、共に喜びあいたいと思います。

我が国は少子高齢化を伴う人口減少社会を迎え、シルバー人材センターの役割の重要性は、ますます高まっております。

会員の皆様方は臨時的、短期的な就業、派遣による就業により長寿社会における自立した生活を維持し、働くことを通じて地域社会の一員として生きがいを実現するとともに、健康を維持・増進し、医療・介護財政の軽減に大きく寄与されています。

今後におきましても、諸先輩が築き育てあげたセンターの未来を志向し、役員や会員の皆様としっかりスクラムを組みながら、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、魅力あるセンターを目指し、新たに歩み始めますので、皆様方の更なるご協力とご支援をお願い申し上げます。



役員紹介

理事・監事

理事	土居 泉水
副理事長	北岡 義彦
常務理事	伊藤 孝造
理事	上田 敬介
理事	伊藤 勤
理事	高橋 幸十郎
理事	深田 治朗
理事	古橋 文子
理事	中岡 征勝
理事	溝渕 里子
監事	青木 利実
監事	山中 貴恵

安全就業対策推進委員

委員長	北岡 義彦
副委員長	氏原 秀一
委員	深田 治朗
委員	岡林 利保
委員	松木 鈴
委員	福富 孝子

事故ゼロを目指して！

7月の安全就業強化月間にむけて安全委員会を開催し、「安全はすべてに優先する」をモットーに、会員の就業はもとより、就業途上の交通事故を含めた事故防止対策について協議しました。今年度は、事故ゼロとなるよう更なる安全就業の徹底を図ってまいります。

★安全パトロールの実施

◎ 巡回パトロールを実施（毎月）し、安全就業確認の取りくみ状況の聴取を行う。

★安全講習会の開催

◎ 刈払機取扱い講習会  
◎ 安全運転講習会  
◎ 交通安全講習会

★安全就業ハンドブックの配布

★ヒヤリ・ハット事例収集・啓発

◎ ほんの些細なことが要因で事故が発生。重なると大事故に！



シルバー傷害保険による事故発生の推移（平成23年度～28年度）

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
高知県全体	43件	59件	48件	50件	60件	69件
いの町	2件	7件	1件	2件	3件	5件

**近年最も多い** 傷害事故・・・蜂・虫・犬・蛇等による刺され噛まれ、転倒・転落  
傷害事故発生の主な仕事・・・除草作業、剪定作業、清掃作業

仕事は謙虚な気持ちで！【励行】

あなどらず いらつかず うぬぼれず えらぶらず おごらず

# 一病息災

- ☆必ず身体メンテナンスが必要に
- ☆持病がかえって健康管理を促進



「無病息災」という言葉があります。一生そうであれば、これほど理想的な状態はないでしょうが、実際はみんな「一病」くらいはかかえているもの。「ちょっとした病気のある人の方が身体に注意するので、健康な人よりもかえって長生きする」というのが『一病息災』の考え方。

★お知恵拝借健康塾より★

会員募集中！

新規会員の加入促進は、会員の皆様による「ロコミ」が効果的です。引き続き声掛けにご協力ください。

一人一会員の勧誘活動を！

# ～7月は安全就業強化月間です～

安全就業対策推進委員会

シルバー人材センター事業は、健康で安心して働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としております。このことから日頃から安全就業に対する意識の高揚を維持していくことが重要です。

このため、7月を「安全就業強化月間」と定め安全について会員一人ひとりが、個人また組織全体の問題として捉え事故の撲滅を図り、安全・安心のシルバー事業の一層の展開を図るものです。

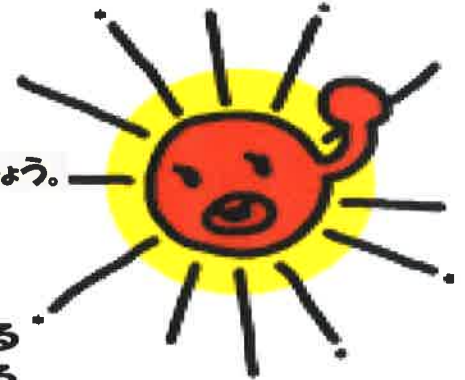
就業中、就業途上の事故が起こらぬよう、この期間にもう一度「安全就業・健康管理・交通安全確保」の再確認に取り組みましょう。

## 熱中症に注意!

就業中は仲間に声をかけるなど、お互いに気を遣い合ひましょう。

熱中症を防ぐには

- |       |  |
|-------|--|
| 就業前日  | 十分に睡眠をとる<br>アルコールは控えめに                         |
| 就業日の朝 | 天気や気温を意識する<br>自分の体調を確認する                       |
| 就業中   | 熱中症対策グッズや帽子を活用<br>涼しい素材の服を着る<br>こまめな休憩と水分・塩分補給 |



## 茶毒蛾に注意!

サザンカ・ツバキ等に湧きます。葉を確認しましょう。

もし刺されたら

- 絶対にこすらない
- 粘着テープ等で患部を押さえ毒針を取り除く
- 強い流水やシャワーで洗い流す
- 軟膏(抗ヒスタミン入り)を塗る
- 炎症がひどい場合は皮膚科を受診する



## 蜂に注意!

7月～10月はスズメ蜂に注意しましょう。

もし刺されたら

- 刺された場所から離れ、刺されているところをきれいな水で洗う
- 赤く腫れはじめたところに軟膏(抗ヒスタミン入り)を塗る
- 手や足を刺された場合は心臓に近い方を止血ゴム管等でしばる、但し数分間隔でゆるめる
- 初期症状として発疹、流涙、せき、嘔吐、下痢等の症状がみられる場合は一刻も早く病院で受診する

